

II 实践编

実践編で紹介している指導方法

実態の例

指導方法の例

特殊音節の読みが苦手な児童の指導(1)→34ページ

- 行をとばして読んでしまう。
- 文末を変えて読むことがある。
- 漢字が読めない。

- M I M特殊音節読みカードの活用
- 教科書の拡大ワークシートの活用

特殊音節の読みが苦手な児童の指導(2)→36ページ

- 特殊音節が正確に読めない。
- 音と文字が繋がらない。

- 短期個別指導計画の活用
- 携帯型個別指導計画の活用
- 特殊音節を含んだ単語の視覚化・動作化
- 「特殊音節を含んだ言葉集め」の取組

漢字の読み書きが苦手な児童の指導(1)→38ページ

- 独特の筆順である。
- 漢字の細かい部分を意識しない。

- 「漢字の間違い探し」の取組
- 「漢字を使った文作り」の取組

漢字の読み書きが苦手な児童の指導(2)→40ページ

- 学年相当の漢字が読めない、書けない。

- 「漢字かるた」の取組
- 読み書き支援プログラムの読み書き支援プリントの活用
- ____さんが学習した漢字単語の活用
(在籍学級との連携ツール)

音読が苦手な児童の指導→42ページ

- 読み方がたどたどしい。
- 文のどこを区切って読めばよいか分らない。

- M I Mの言葉絵カードの活用
- 「かるたづくり」の取組
- 「おわりが大事」の取組
- テープを使い文の区切りを意識して読む
- ボイスレコーダーを活用した自己評価

長文の意味理解が苦手な児童の指導(1)→44ページ

- 長文を読みながら内容を理解することが難しい。

- 物語のあらすじの「見える化」の工夫
- はじめ、なか、おわりを意識したワークシートの工夫

長文の意味理解が苦手な児童の指導(2)→46ページ

- 体を使ったり、教材を操作したりすることは得意だが、長文の理解が難しい。

- 挿絵を活用したワークシートの工夫
- 板書やICT機器の活用の工夫

文章を書くことが苦手な児童の作文指導(1)→48ページ

- 気持ちや考えを入れた文章を書くことが難しい。
- 短文は書けるが長文を構成して書くことが難しい。

- 「気持ちと言葉のマッチング」の取組
- 詩を使った気持ちの読み取り
- 体験したことを写真で文章構成

文章を書くことが苦手な児童の作文指導(2)→50ページ

- 丁寧に書くことが苦手である。
- 原稿用紙の使い方が定着しない。

- 「手順シート」の活用
- 「見直し十一か条」の活用

文章を書くことが苦手な児童の作文指導(3)→52ページ

- 相手に分かりやすく話すことが難しい。
- 文章を書くことに苦手意識がある。

- 短期個別指導計画の活用
- 携帯型個別指導計画の活用
- 自己評価表の活用
- 「聞き取りメモ」の活用
- パソコンの活用

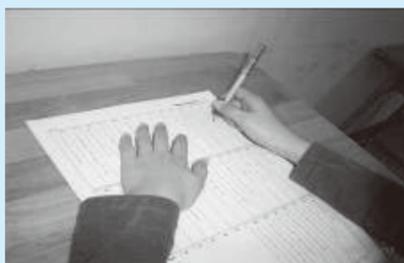
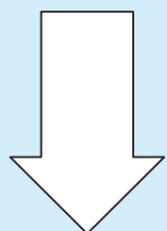
特殊音節の読みが苦手な児童の指導(1)

アセスメントの実施



【指導開始時期の「読み」の様子(通級指導学級の様子から)】
 ○行を飛ばして読んだり、読み違えたりする。
 ○文末を変えて読むことがある。
 ○読み書きに対する抵抗感が強い。
 ○当該学年の国語の教科書の音読では、漢字が読めなくて、引っかかってしまう。

★はじめは、漢字の読みができないために流暢に読めないと考えていました…。
 ★でも、「MIM-PM」で実態把握を試みたら!



【MIM-PMの結果から】
 ○特殊音節の読み書きや単語の意味理解が当該学年より2学年下の段階であることが分かりました。
 ※特殊音節が正確に読めていないことが明らかになりました。

指導目標と指導の手だて

★特殊音節のある語・文章を
 流暢に読めるようになろう!



指導の手だて

- ★MIMの特殊音節の学習教材
- ・特殊音節を読むことば絵カード
- ★教科書の拡大ワークシート

読み書き(指導内容・方法の工夫)

MIM-PMの答え合わせと確認

3つのことばを みつけよう

きつてらっこまっち (児童)	いぬはないちご (教員)	3つのことばを みつけよう (児童)
-------------------	-----------------	--------------------------



【ポイント】
 本来は一人で読む特殊音節のある三つの言葉を、教師と交互に読むことで、苦手な読みの負担を減らしました。

よんで
 いました。

こたつに
 当たり前ながら
 本を

マサエは、おばあちゃんと
 いっしょに

雪が
 しんしんと
 ふっています。

わらぐつ
 中の
 神様

★例えば、児童が「わらぐつ」について言葉の意味を調べ、行間に書き入れます。

教科書の拡大ワークシート

教科書の拡大ワークシートで、漢字の読みと意味を調べて書き入れ、読む練習をしました。

指導の成果(通級指導学級・在籍学級)

- ◆特殊音節のある単語の読みが上手にできるようになりました。
- ◆休憩時間等に物語や漫画を手にする機会が増えました。
- ◆行間を空け、分かち書きにした教科書の拡大ワークシートは、本児にとって読みやすく、自分で振り仮名を記入することができました。



★在籍学級では、短い文を挙手して読むなど、読むことに自信がつき、在籍学級での学習に意欲的に参加するようになってきました。